

# 報告書抄録

ふりがな	しんちやいせき							
書名	新茶屋遺跡							
副書名	盛岡中央消防署山岸出張所庁舎建設に伴う発掘調査報告							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編集者名	菊地 幸裕							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1 電話 019-635-6600							
発行機関	盛岡地区広域消防組合・盛岡市教育委員会							
発行年月日	2014年10月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査 期間	調査 面積	調査 原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
しんちやいせき 新茶屋遺跡	いわてけん 岩手県 もりおかしやまぎし 盛岡市山岸 ろくちょうめ 六丁目 ほか 269-2 外	03201	LE07-0143	39° 43' 39"	141° 10' 19"	20130917 ～ 20131210	481 m <sup>2</sup>	消防庁舎 建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
新茶屋遺跡	散布地	縄文時代	焼土遺構 1基 遺物包含層		縄文時代早期～ 前期の土器・石器			
要約	これまでの調査で、縄文時代早期の焼土遺構、縄文時代早期～前期・弥生時代の遺物包含層が確認されている。本調査においても同時期の遺構・遺物が検出された。特に、縄文時代前期初頭の土器は、当市内の類例が少なく、該期の貴重な資料である。							